

様式記載例 別紙1

別紙1

除害施設に係る汚水を排出する施設の構造

工場又は事業場における施設番号	工事1	工事2	工事3
除害施設に係る汚水を排出する施設名称	立坑・地盤改良工事	清掃等	湧水・雨水
型式	—	—	水中ポンプ (▲▲-123)
構造	—	—	別紙参照
主要寸法	—	—	別紙参照
能力	2m ³ /日	1m ³ /日	20m ³ /日
配置	別紙参照	別紙参照	別紙参照
設置年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日	〇〇〇〇年〇月〇日	〇〇〇〇年〇月〇日
工事完成予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日	〇〇〇〇年〇月〇日	〇〇〇〇年〇月〇日
使用開始予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日	〇〇〇〇年〇月〇日	〇〇〇〇年〇月〇日
その他参考となるべき事項			

備考 配置の欄には、当該除害施設に係る汚水を排出する施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

【記入の際の注意点】

この除害様式（様式第2号）は、工事に伴い発生するアルカリ排水を中和処理する排水処理施設（除害施設）を設置する場合にご利用ください。バッチャープラント等の特定施設を設置する場合は、共通様式（様式第1号）をご利用ください。

別紙1

《除害施設に係る汚水を排出する施設の構造》

- ◇ 各欄に必要な事項を記入してください。
- ◇ 「能力」には、1日当たりの排水量等を記入します。
- ◇ 「設置年月日」には、既設の施設等を届出する場合に記入してください。
- ◇ 「工事着手予定年月日」には、工事の着工予定日を記入してください。「工事完成予定年月日」には、工事の完了予定日を記入してください。「使用開始予定年月日」は、工事が完了し施設等から汚水を排出する予定日を記入してください。

別紙2

除害施設に係る汚水を排出する施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	工事1	工事2	工事3				
除害施設に係る汚水を排出する施設名称	立坑・地盤改良工事	清掃等	湧水・雨水				
設置場所	別紙参照	別紙参照	別紙参照				
操業の系統	別紙参照	別紙参照	別紙参照				
使用時間間隔	8:00~18:00	8:00~18:00	8:00~18:00				
1日当たりの使用時間	10時間	10時間	10時間				
使用の季節的変動	なし	なし	なし				
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	なし	なし	なし				
当該除害施設に係る汚水を排出する施設から排出される汚水の水質	種類・項目	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	pH	10	10	10	10	10	10
当該除害施設に係る汚水を排出する施設から排出される汚水の量(m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
	2	2	1	2	20	50	
その他参考となるべき事項	中和処理後、排出口1	中和処理後、排出口1	中和処理後、排出口1	中和処理後、排出口1	中和処理後、排出口1	中和処理後、排出口1	

備考 当該除害施設に係る汚水を排出する施設から排出される汚水の水質の欄には、当該工場又は事業場から排除される下水に係る水質の基準が定められた事項について記載すること。

別紙2

《除害施設に係る汚水を排出する施設の使用の方法》

- ◇ 「設置場所」、「操業の系統」は、別紙平面図、作業フロー図を添付して別紙参照としてください。
- ◇ 「使用時間間隔」には、除害施設に係る汚水を排出する施設を使用する時間を記入してください。
- ◇ 「原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量」には、除害施設に係る汚水を排出する施設で使用する薬品等を記入してください。
- ◇ 「当該除害施設に係る汚水を排出する施設から排出される汚水の水質」には、除害施設に係る汚水を排出する施設から排出されるpHを記入してください。
- ◇ 「その他参考となるべき事項」には、施設から排出される1時間当たりの排水量(時間最大排水量)と排出された排水がどの処理施設に流入するか記載してください。
- ◇ 枠内に記載しきれない場合は、別紙参照としても構いません。
- ◇ 除害施設に係る汚水を排出する施設の更新などの届出において、変更前・変更後の区別が必要な場合は、右上に「変更前」、「変更後」と記載し、それぞれ添付してください。

別紙3

汚水の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	濁水中和1				濁水中和2				
処理施設の設置場所	別紙参照				別紙参照				
設置年月日	年月日				年月日				
工事着手予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日				〇〇〇〇年〇月〇日				
工事完成予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日				〇〇〇〇年〇月〇日				
使用開始予定年月日	〇〇〇〇年〇月〇日				〇〇〇〇年〇月〇日				
種類及び型式	濁水中和処理施設				濁水中和処理施設				
構造・主要寸法	別紙参照				別紙参照				
能力	5m ³ /h				10m ³ /h				
処理の方式	中和				中和				
処理の系統	別紙参照				別紙参照				
集水及び導水の方法	別紙参照				別紙参照				
使用時間間隔	8:00~18:00				8:00~18:00				
1日当たりの使用時間	10時間				10時間				
使用の季節変動	なし				なし				
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	希硫酸 (1m ³ /日)				炭酸ガス (1m ³ /日)				
汚水の水質及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	10	5-9	10	5-9	10	5-9	10	5-9
量(m ³ /日)	3	3	4	4	20	20	50	50	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥 (〇m ³ /月、産廃処理)				汚泥 (〇m ³ /月、産廃処理)				
汚水を公共下水道又は流域下水道へ排除する方法	排出口1から公共下水道へ排出				排出口1から公共下水道へ排出				
その他参考となるべき事項									

備考 1 汚水の水質の欄には、当該工場又は事業場から排除される下水に係る水質の基準が定められた事項について記載すること。
 2 汚水を公共下水道又は流域下水道へ排除する方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

≪汚水の処理の方法≫

- ◇ 「能力」には、設計計算書またはカタログに記載された除害施設の処理能力を記入してください。
- ◇ 「処理の方式」には、除害施設の処理内容（中和、凝集沈殿処理、浮上分離、吸着など）を記入してください。
- ◇ 「使用時間間隔」には、除害施設を稼働させる時間を記入してください。
- ◇ 「1日当たりの使用時間」には、処理水量等から想定される除害施設の稼働時間を記入してください。
- ◇ 「汚水の水質及び量」には、当該除害施設に流入する可能性のある規制項目を記入してください。
- ◇ 「汚水を公共下水道又は流域下水道へ排除する方法」には、別紙4の「公共下水道への排出口」に記入した、いずれの排出口から排除されるかわかるように記入してください。
- ◇ 枠内に記載しきれない場合は、別紙参照としても構いません。
- ◇ 除害施設の更新などの届出において、変更前・変更後の区別が必要な場合は、右上に「変更前」、「変更後」と記載し、それぞれ添付してください。

除害施設については、「横浜市環境創造局事業場排水指導要綱」の第7条において、以下の対策を定めています。

- 水質監視槽には、pH計及びその自動記録計、pH異常時の警報装置並びに原水槽への戻し配管を設置する。
- 以下に示す構造と同等以上の能力を有する。
 - 原水槽 : 時間最大排水量 Q_{max} の2倍以上（滞留時間2時間以上）
 - pH調整槽 : 時間最大排水量 Q_{max} の1/6倍以上（滞留時間10分以上）
 - 水質監視槽 : 時間最大排水量 Q_{max} の1/12倍以上（滞留時間5分以上）
 - 薬品貯留層 : 2日分以上

また、第8条第2項において除害施設の維持管理について定めています。

別紙4

公共下水道に排除される下水の量及び水質

公共下水道への排出口		排出口1		排出口2		排出口3 (雨水)	
種類・項目	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
	下水の水質 pH	5-9	5-9				
下水の量 (m ³ /日)	通常 23	最大 54	通常 0.5	最大 0.5	通常 0	最大 0	
その他参考となるべき事項							

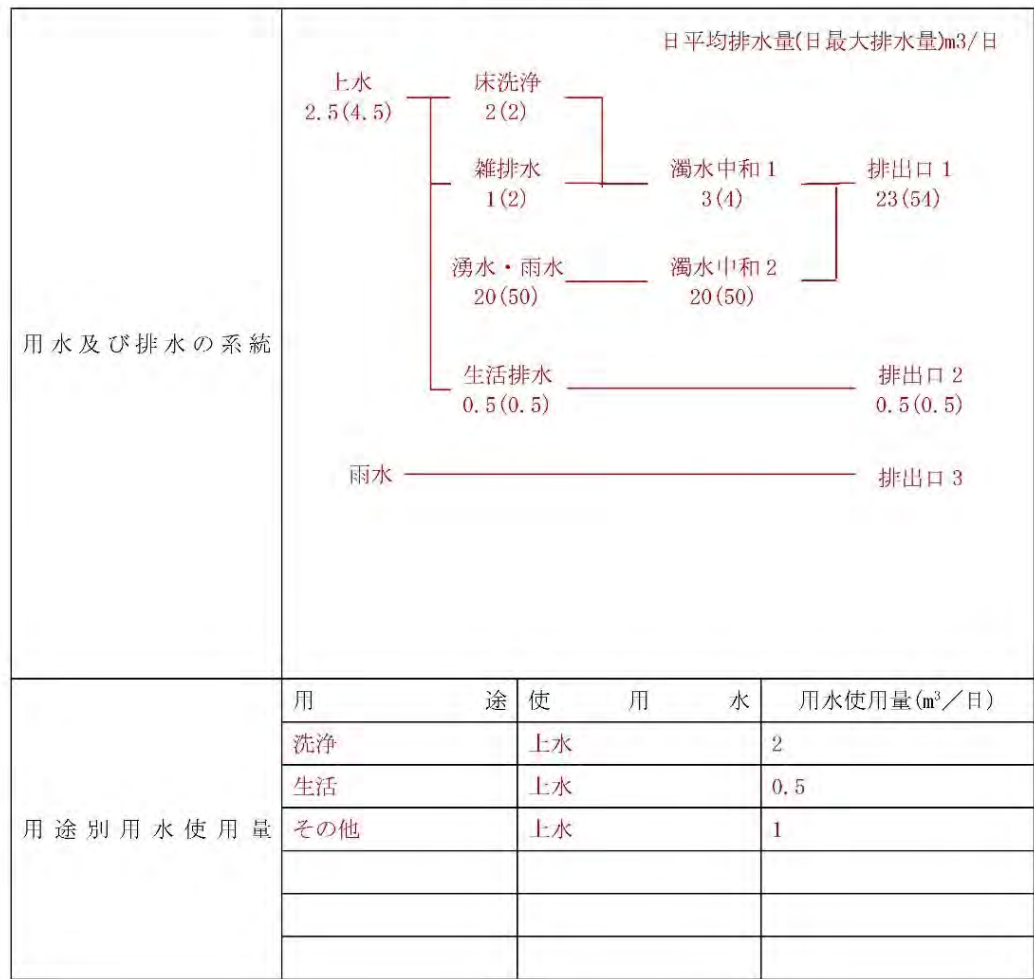
備考 下水の水質の欄には、当該工場又は事業場から排除される下水に係る水質の基準が定められた事項について記載すること。

≪ 公共下水道に排除される下水の量及び水質 ≫

- ◇ 「公共下水道への排出口」は、排出口ごとに番号を割り振り、その番号を記入してください。
- ◇ 「下水の水質」は、排出口から排出される可能性のある規制項目を記入してください。
- ◇ 「その他参考となるべき事項」には、必要に応じて必要事項を記入してください。
- ◇ 枠内に記載しきれない場合は、別紙参照としても構いません。

別紙5

用水及び排水の系統



別紙5

≪用水及び排水の系統≫

- ◇ 「用水及び排水の系統」は、給水量と汚水の発生量、排水処理施設の処理量、公共下水道への排水量の関係を図で示してください。排出口が複数ある場合は、それぞれの排出される汚水の種類が分かるように記載してください。雨水についても記載してください。
- ◇ 「用途別用水使用量」は、用途別の使用水種類とその使用量を記入してください。
- ◇ 枠内に記載しきれない場合は、別紙参照としても構いません。

参考資料記載例

参考

1 届出理由

▲▲地区の開発工事に伴い発生するアルカリ排水を処理するため、濁水中和処理施設を設置します。
 工事期間：〇〇〇〇年〇月〇日～〇〇〇〇年〇月〇日予定

2 事業場概要

従業員数	50人	業種(細分類)	一般土木建築工事業
主要製品	—	換業時間	8時～18時
企業規模	大企業・ 中小企業 ・零細企業・公共施設		
敷地面積	1,000㎡	下水排除方式	合流・ 分流 ・未告示
担当部署	●●課	担当者	横浜 太郎
電話番号	045-XXX-XXXX	メールアドレス	XXX@city.yokohama.jp

添付書類一覧

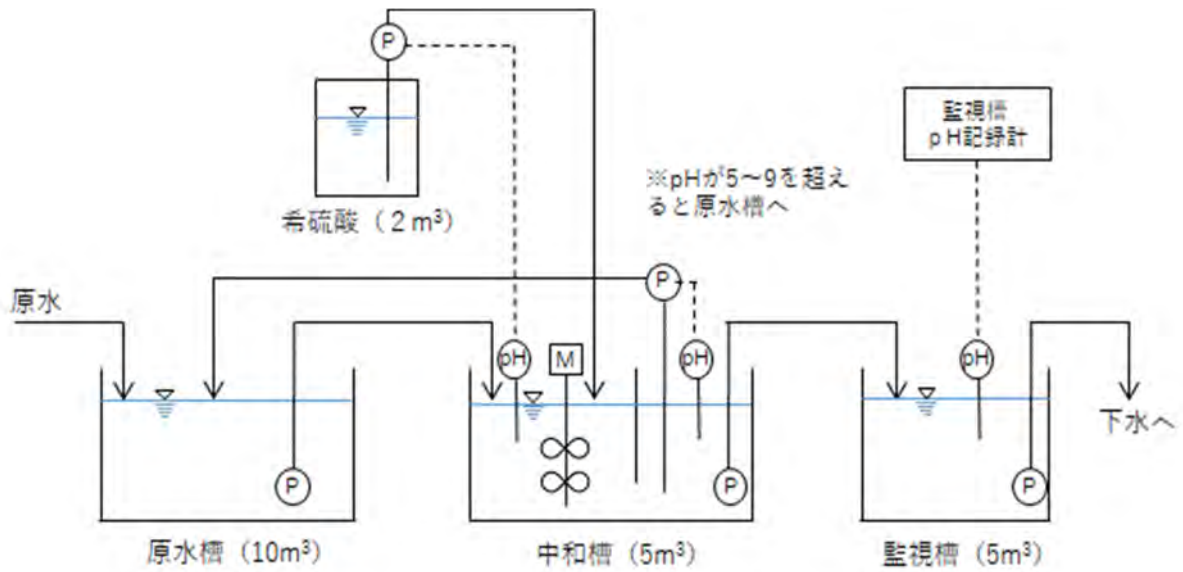
下	添付書類の名称	作成上の注意
✓	除害施設に係る汚水を排出する施設の構造図	縮尺・寸法を記入してください。(別紙1の構造・主要寸法に該当)
✓	除害施設に係る汚水を排出する施設のその他参考となる図面(カタログ、床面材質の資料等)	(別紙1の能力に該当)
✓	除害施設に係る汚水を排出する施設に関連する主要機械又は主要装置の配置図	(別紙1の配置に該当)
✓	除害施設に係る汚水を排出する施設の設置場所(土木図面等)	(別紙2の設置場所に該当)
✓	換業の系統図(フローシート)	(別紙2の換業の系統に該当)
✓	除害施設の設置場所	(別紙3の処理施設の設置場所に該当)
✓	除害施設の構造図	縮尺・寸法を記入してください。(別紙3の構造・主要寸法に該当)
✓	汚水の処理系統図	(別紙3の処理の系統に該当)
✓	除害施設のその他参考となる図面(カタログ等)	(別紙3の処理施設の能力に該当)
✓	除害施設の設計計算書及び装置、機械の仕様書並び取扱説明書	設計根拠とした原水及び処理水の水質、水量及び処理方法の選定理由、安全率、最大処理能力並びに装置、機械の仕様を記入してください。(別紙3の処理施設の能力・処理の方式に該当)
✓	用水、排水の系統図	給排水は、色分けしてください。(別紙5の用水及び排水の系統に該当)
✓	水バランスシート	(別紙5の用水及び排水の系統に該当)
✓	事業場への案内図	
✓	敷地内の建物及び構造物の配置図並びに公共下水道への接続図	
✓	除害施設一覧表	除害施設の名称・型式・処理系統などが把握できるようにしてください。

注1 変更届出の場合は、図面上に変更箇所を明示してください。
 注2 何枚かの図面をまとめられる場合は、まとめてください。
 注3 図面は原則、A4版又はA3版とし、A3版の図面はA4版に折って提出してください。

参考資料

- ◇ 「届出理由」は、工事の内容やスケジュール、排水の概要などを記入してください。
- ◇ 「業種」は、日本標準産業分類の細分類を記入してください。
- ◇ 合流と分流のどちらに該当するかは、[横浜市行政地図情報提供システムの「だいちゃんマップ」](#)で確認できます。
- ◇ 添付書類一覧には、添付したものに「✓」などを記入してどの資料を添付したか分かるようにしてください。

例 処理フロー



例 給排水系統図

